Pick up!
CONCERT HALL

2025年度 全国共同制作オペラ　東京芸術劇場シアターオペラvol.19

ドニゼッティ／歌劇『愛の妙薬』

全２幕／イタリア語上演／日本語・英語字幕付き／新制作

Tokyo Metropolitan Theatre Opera vol.19 “L’elisir d’amore”

杉原邦生演出で
“カワイイ”オペラ誕生！

**幅広いジャンルを手掛けてきた杉原邦生が、
歌劇『愛の妙薬』でオペラ演出に初挑戦。
恋に翻弄される人間たちを、“カワイイ”をキーワードに魅せる。**

演出家・杉原邦生がオペラを初演出する。その作品は、『愛の妙薬』。純朴な農夫ネモリーノが、村一番の美人で聡明な娘アディーナに恋をし、インチキ薬売りのドゥルカマーラ博士が売りつける“愛の妙薬”なる偽の惚れ薬をきっかけに、めでたく結ばれるというロマンティック・コメディである。偽薬に翻弄される男、その男に翻弄される女、そしてその女に翻弄される別の男もありと、二転三転しながら進んでいく物語には、荒唐無稽な面白さがあふれている。だからこそ、その演出には杉原邦生がふさわしいのだろう。

杉原は、主宰カンパニー「KUNIO」でのプロデュース公演をはじめ、ギリシャ悲劇から、シェイクスピア、歌舞伎、現代劇まで、幅広いジャンルを手掛けてきた演出家である。なかでもその手腕が生きるのが古典作品だ。歌舞伎にたとえば現代では考えられないような主君への忠臣が描かれるように、そこにはそれこそ荒唐無稽にも見える人間たちの姿が様々に登場する。それを杉原は常に、“今”に届くように演出してきた。歌舞伎にラップを取り入れたのもその一つだが、意表を突くその演出も、作品の核心を今に伝えるための発想だったにすぎない。杉原は言う。

「自分としては思いつきでやっていることは一つもなく、戯曲に書いてあることを自分なりにシンプルに解釈しているだけなんです。そうやって古典作品や海外の戯曲を演出してきましたから、このオペラで初めて僕の演出に触れることになる皆さんも、そこはもう半分騙されたと思って（笑）、信じていただけたらと思っています。歌舞伎でも、足りていないところは周囲の方々に学びながらつくってきました。今回も、マエストロのセバスティアーノ・ロッリさんはじめ、周りのプロフェッショナルな方々に教えていただきながら、自分の演出につなげていくつもりです」

では、現段階で杉原は、『愛の妙薬』の核心をどう捉え、それをどう表現していこうとしているのか。キーワードとしたのは「カワイイ」である。「恋に振り回される登場人物たちが僕にはとても愛らしくカワイク思えた」のだという。おそらく、そのカワイイの表出のさせ方も、ファッションや音楽など、今を敏感に感じ続けている杉原ならではのものになるはずだ。

「“カワイイ”は今や世界的な共通語となって、ポジティブに多様なものを受け入れる言葉になっていますから、たとえば衣裳などのビジュアルでも、時代や国、ジェンダーなどがボーダーレスな形で“カワイイ”を表現できたらとイメージしています」

アディーナ役のソプラノ高野百合絵、ネモリーノ役のテノール宮里直樹（東京、大阪公演）、糸賀修平（京都公演）をはじめとする歌い手たちにも、「かわいらしく恋にキャピキャピしてほしい」というから、高尚に見えるクラシック音楽家たちに親近感を覚えることになるかもしれない。また、これまで杉原作品に出演経験のある俳優やダンサーも出演。作中には登場しないキャラクターを演じて舞台で起こることを見守り、ときには登場人物たちを動かしていくようで、その存在によって、「また別の視点から人間たちの“カワイイ”を表現できたら」と目論む。

カワイイは無敵だ。カワイイに包み込まれたら、誰だって多幸感でいっぱいになる。オペラファンには、これまで以上に幸せを感じる『愛の妙薬』になるだろう。さらに、オペラ未経験者にとっても、入り口にぴったりな楽しい作品になるはず。演劇や歌舞伎のファンが杉原演出をきっかけにオペラという新しい世界を自分の中に広げていく。これもまた、幸せで豊かなことである。

取材・文：大内弓子（ライター）

Sebastiano ROLLI

TAKANO Yurie
©Yuji Ueno

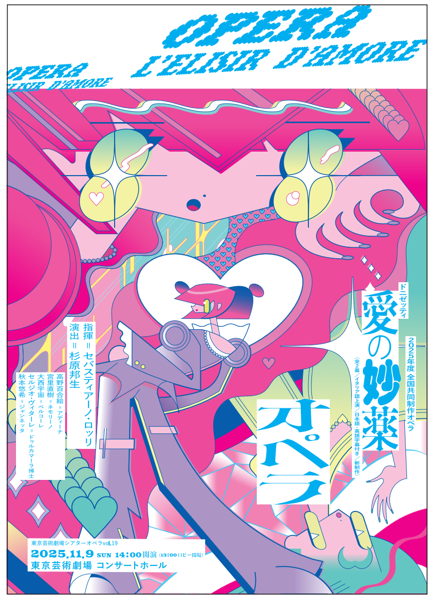
MIYASATO Naoki
©深谷義宣 auraY2

ONISHI Takaoki
©Marco Borggreve

Sergio VITALE
©Pepe Russo

AKIMOTO Yuki

SUGIHARA Kunio
撮影：細野晋司


OPERA
L'ELISIR D'AMORE
ドニゼッティ
愛の妙薬
オペラ
2025年度 全国共同制作オペラ
〈全2幕／イタリア語上演／日本語・英語字幕付き／新制作〉
指揮＝セバスティアーノ・ロッリ
演出＝杉原邦生
高野百合絵＝アディーナ
宮里直樹＝ネモリーノ
大西宇宙＝ベルコーレ
セルジオ・ヴィターレ＝ドゥルカマーラ博士
秋本悠希＝ジャンネッタ
東京芸術劇場シアターオペラvol.19
2025.11.9 SUN 14:00開演（13:00ロビー開場）
東京芸術劇場 コンサートホール

11月9日㊐ 14:00開演
コンサートホール　詳細はP09へ

指揮：セバスティアーノ・ロッリ
演出：杉原邦生（KUNIO）
出演：アディーナ／高野百合絵
　　　ネモリーノ／宮里直樹
　　　ベルコーレ／大西宇宙
　　　ドゥルカマーラ博士／セルジオ・ヴィターレ
　　　ジャンネッタ／秋本悠希

ダンサー：福原冠　米田沙織　内海正考
　　　　　水島麻理奈　井上向日葵　宮城優都

合唱：ザ・オペラ・クワイア
管弦楽：ザ・オペラ・バンド

大阪、京都 公演あり

掲載情報に変更が生じる場合がございます。最新情報は、劇場や各主催者の WEB サイトなどでご確認ください。